

Google Cloud 上の Red Hat OpenShift Virtualization に VM を移行

仮想化分野での変化により、多くの組織が大規模な移行を効率化するための新たなプラットフォームと戦略を探し求めています。[Red Hat® OpenShift® Virtualization](#) は、Google Cloud 上のセルフマネージド Red Hat OpenShift だけでなく [Google Cloud 上の Red Hat OpenShift Dedicated](#) でも利用でき、Google Cloud インフラストラクチャで動作する先進的な仮想化プラットフォームで仮想マシン (VM) を効率的に移行および管理するのに役立ちます。このチェックリストで、そのメリットを詳しくご確認ください。

1 VM の移行とデプロイを迅速化

Google Cloud 上の OpenShift Dedicated は、一貫性があり、セキュリティを重視した基盤となります。VM のワークロードにもコンテナのワークロードにも対応し、フルマネージドサービスとして提供されます。OpenShift Virtualization Operator はセルフマネージド型ですが、OpenShift コンソールの OpenShift OperatorHub から簡単にデプロイできます。

このソリューションは、運用の継続性を維持しながら VM の移行とデプロイを効率化する、以下の機能を提供します。

- ▶ 仮想化移行ツールキット (MTV) へのアクセス：段階的なガイドンスに従って操作することで VM の移行を単純化し、エラーを最小限に抑えることができます。
- ▶ Red Hat Ansible® Automation Platform による統合型の自動化：多数の VM のオーケストレーション、移行前後のチェックの実施、Google Cloud サービスを含む既存のインフラストラクチャおよびサービスへの接続を通じて、大規模な移行を効率化します。
- ▶ ライブマイグレーション機能：ノード障害が生じた場合やメンテナンスが必要な場合でも VM を稼働させ続けることでダウンタイムを削減できます。
- ▶ あらゆる IT 環境における一貫性、可搬性、効率性：ワークロードを最も適切な場所にデプロイできます。

2 自社のペースでモダナイズ

OpenShift Virtualization は、クラウドネイティブなプラットフォームです。組織の準備が整った時点でモダナイゼーションを進められるようにする、以下の機能を提供します。

- ▶ Google Cloud サービス (Cloud SQL、Vertex AI、Identity and Access Management、Cloud Storage など) や、認定されている Red Hat パートナー・ソリューションとの統合オプション。
- ▶ VM とコンテナのサポート：すべてのアプリケーションを同じツールで管理でき、必要に応じて先進的なプラクティスを導入できます。
- ▶ 柔軟でセキュリティを重視した環境：Infrastructure as Code (IaC) を管理し、AI/ML ワークロードへと拡張することができます。

3 Google Cloud C3 ベアメタルでパフォーマンスを最適化

Google Cloud の C3 ベアメタルインスタンスは今日のハイブリッドおよびクラウドネイティブのニーズに応える低レイテンシー、高スループットの仮想化を実現するとともに、エンタープライズ規模の VM ワークロード向けに設計されており、OpenShift Virtualization の強固な基盤となります。このインスタンスでは以下のことが可能です。

- ▶ あらゆる環境で一貫したスループットを維持しながら、リソース使用率を最適化する
- ▶ Google Cloud Tier 1 Network を使用することで、入出力 (I/O) の高速化とレイテンシーの低減を実現し、データ集約型アプリケーションやリアルタイム・アプリケーションをサポートする
- ▶ Google Cloud のネイティブデータプレーンとの統合により、先進的なワークロードの応答性を向上させる
- ▶ Google Cloud のネイティブサービスを使用することで、ワークロード固有の利点をサポートし、大規模アプリケーションのパフォーマンスを向上させる

4 マネージド型サポートで運用の複雑性を軽減

Google Cloud 上の OpenShift Dedicated は、以下の機能により、日々の運用における複雑性を軽減します。

- ▶ フルマネージド型のプラットフォーム：Red Hat のサイト信頼性エンジニア (SRE) が構成、クラスタのライフサイクル管理、パッチ適用、スケーリング、インシデント対応を管理します。
- ▶ 24 時間年中無休のサポートと明確なサービスレベル契約 (SLA) へのアクセス：これにより、安心して拡張できます。
- ▶ 自動化とライフサイクル管理ツール (Google Cloud Operator や Helm チャートなど) の統合サポート：ベンダーのインテリジェンスが組み込まれており、認定パートナー・アプリケーションのデプロイと管理を単純化できます。

5 柔軟な購入オプションでクラウドコストを効率化

Google Cloud 上の Red Hat OpenShift を選択すると、コストの削減と調達の手続きの単純化に役立つ柔軟な購入オプションを利用できます。お客様は、ニーズに応じた確約利用料プログラムを選択して使用できます。

以下の 2 つの柔軟な購入オプションが用意されています。

- ▶ Google Cloud Marketplace 経由で課金されるオンデマンドの柔軟な従量プラン
 - ▶ Red Hat から購入する、年間固定容量型のサブスクリプション
- また、以下の 2 つの確約利用料プログラムも利用できます。
- ▶ Google Cloud Commit：対象製品に割引が適用されます。Google Cloud Marketplace および Console での購入 (多くの Red Hat ソリューションを含む) が確約利用料に計上されます。
 - ▶ Red Hat Hybrid Committed Spend：Google Cloud Marketplace または Console から、あるいは Red Hat から直接、Red Hat 製品を購入でき、さらに Red Hat での支出に対するボリューム割引も利用できます。これにより、Red Hat ソリューションの購入を Google Cloud と Red Hat の両方で確約利用料に計上し、両方から割引を受けることができます。

さらに詳しく

Google Cloud 上の OpenShift Dedicated で動作する OpenShift Virtualization が仮想化のニーズをどのように満たすことができるのか、詳しくは[この Web ページ](#)をご覧ください。

今すぐ始める

[Google Cloud Marketplace](#) にアクセスして、Google Cloud 上の OpenShift Dedicated を購入するためのオプションをご確認ください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

f fb.com/RedHatJapan
X twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1 800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1 800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052